

平成 27 年国勢調査
〈人口等基本集計結果〉
大阪市西成区の概要

平成 28 年 11 月
大阪市西成区役所総務課

1 人口

○西成区の人口は 11 万 1883 人

平成 27 年国勢調査における西成区の人口は 11 万 1883 人となっている。全国では大正 9 年の調査開始以来、初めての減少となり、大阪府でも昭和 22 年以来 68 年ぶりに減少となったが、大阪市では増加となった。それに対し、西成区では平成 22 年から 8.3%の減少となっている。

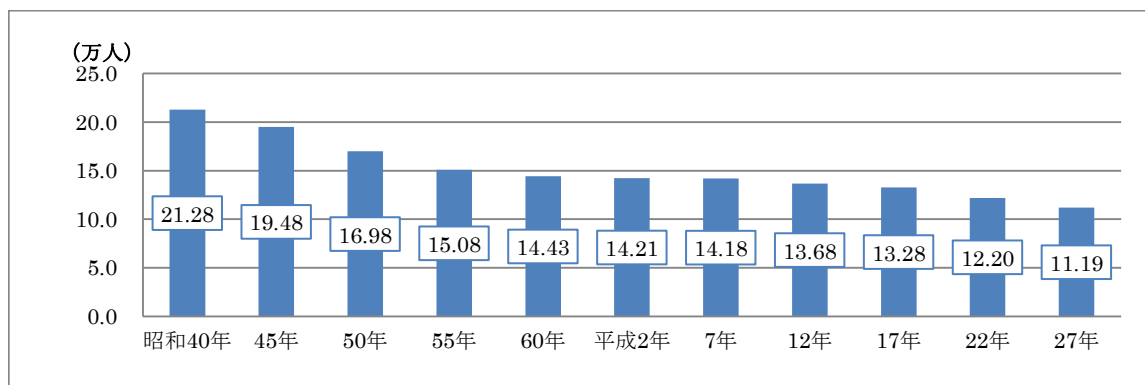
西成区の戦後の人口は、昭和 35 年の 21 万 4652 人をピークに以後減少を続けている。(表 1－1、図 1－1)

なお、平成 27 年国勢調査における大阪市の人口は 269 万 1185 人で、前回調査に比べ 2 万 5871 人(対前回調査比 1.0%)の増加となっている。

表 1－1 国勢調査人口の推移(昭和 25 年～平成 27 年)

年次	人口	5 年間の人口増加	
		増減数(人)	増減率(%)
昭和 25 年	151,509	—	—
30 年	188,652	37,143	24.5
35 年	214,652	26,000	13.8
40 年	212,819	△ 1,833	△ 0.9
45 年	194,800	△ 18,019	△ 8.5
50 年	169,763	△ 25,037	△ 12.9
55 年	150,820	△ 18,943	△ 11.2
60 年	144,260	△ 6,560	△ 4.3
平成 2 年	142,140	△ 2,120	△ 1.5
7 年	141,849	△ 291	△ 0.2
12 年	136,813	△ 5,036	△ 3.6
17 年	132,767	△ 4,046	△ 3.0
22 年	121,972	△ 10,795	△ 8.1
27 年	111,883	△ 10,089	△ 8.3

図 1－1 国勢調査人口の推移(昭和 40 年～平成 27 年)



○男性が女性を 1 万 7395 人上回る

平成 27 年の人口を男女別にみると、男性が 6 万 4639 人、女性が 4 万 7244 人となっており、男性が女性を 1 万 7395 人多くなっている。平成 22 年からの増減をみると、男性が 10.1%の減少に対し、女性は 5.7%の減少となっている。男女別割合では、男性が 57.8%に対し、女性が 42.2%となっており、昭和 25 年以降、昭和 40 年及び平成 7 年を除き、男性の割合の上昇が続いていたが、平成 27 年は平成 22 年に比べて男性の割合が減少した。

人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、昭和 35 年より 100 を超えており、増加傾向であったが、平成 27 年は平成 22 年に比べて減少し、136.8 となっている。（表 1－2）

なお、大阪市の人口における男女数をみると、男性が 130 万 2562 人、女性が 138 万 8623 人と女性が男性を 8 万 6061 人上回っている。

表 1－2 男女別人口（昭和 25 年～平成 27 年）

調査年	人口		性比 (女=100)
	男性	女性	
昭和 25 年	74,279	77,230	96.2
30 年	93,350	95,302	98.0
35 年	108,280	106,372	101.8
40 年	106,439	106,380	100.1
45 年	100,834	93,966	107.3
50 年	88,495	81,268	108.9
55 年	80,068	70,752	113.2
60 年	78,232	66,028	118.5
平成 2 年	81,026	61,114	132.6
7 年	79,769	62,080	128.5
12 年	78,415	58,398	134.3
17 年	78,039	54,728	142.6
22 年	71,871	50,101	143.5
27 年	64,639	47,244	136.8

○区内のほぼ全ての連合振興町会区域で人口が減少

平成 27 年の人口を連合振興町会区域（以下「連合」）別にみると、飛田連合を除き、区全体的に人口が減少している。（表 1－3、図 1－2）

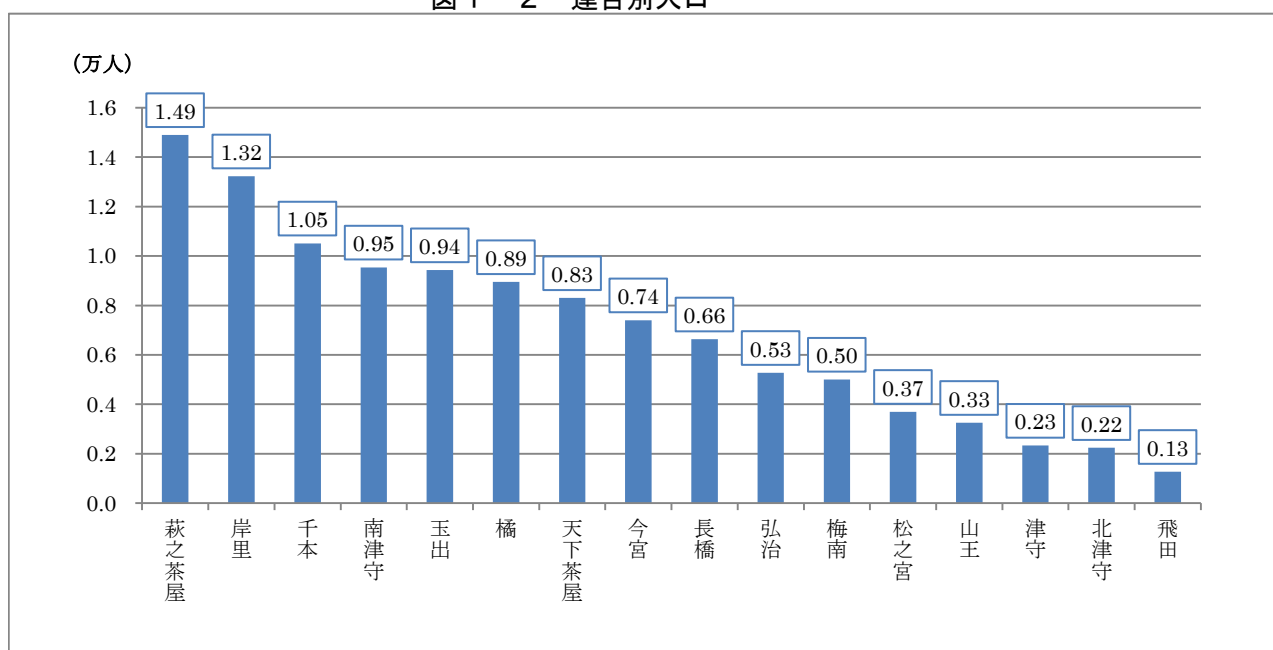
人口減少数をみると、萩之茶屋連合が 4,006 人と最も多く、次いで今宮連合の 1,156 人、南津守連合の 823 人と続いている。一方、人口減少率では、萩之茶屋連合が 21.2%と最も高く、次いで北津守連合の 17.7%、津守連合の 17.4%と続いている。

表 1－3 連合別人口

連合名	人口（※）（人）	※平成 22 年国勢調査との比較（△減）		
		人口	増減	増減率（％）
弘治	5,274	5,374	△ 100	△ 1.9
長橋	6,630	6,724	△ 94	△ 1.4
萩之茶屋	14,895	18,901	△ 4,006	△ 21.2
今宮	7,402	8,558	△ 1,156	△ 13.5
橘	8,947	9,311	△ 364	△ 3.9
松之宮	3,699	4,116	△ 417	△ 10.1
梅南	5,001	5,214	△ 213	△ 4.1
玉出	9,428	9,652	△ 224	△ 2.3
岸里	13,224	13,614	△ 390	△ 2.9
千本	10,510	11,309	△ 799	△ 7.1
津守	2,329	2,818	△ 489	△ 17.4
南津守	9,538	10,361	△ 823	△ 7.9
北津守	2,238	2,720	△ 482	△ 17.7
山王	3,253	3,351	△ 98	△ 2.9
飛田	1,271	1,244	27	2.2
天下茶屋	8,299	8,705	△ 406	△ 4.7

（※）平成 27 年国勢調査（速報）データより作成

図 1－2 連合別人口



2 年齢別人口

○生産年齢人口及び年少人口の減少が続き、高齢人口も減少

平成 27 年における西成区の人口を年齢 3 区分別にみると、15 歳未満人口（年少人口）は 7,730 人（総人口に占める割合 7.3%）、15～64 歳人口（生産年齢人口）は 5 万 7633 人（同 54.1%）、65 歳以上人口（老年人口）は 4 万 1187 人（同 38.7%）となっている。（表 2－1、図 2－1）

また、年少人口は昭和 30 年をピークに、生産年齢人口は昭和 40 年をピークに減少傾向にある。老年人口については昭和 25 年当初より増加を続けていたが、平成 27 年に初めて減少となった。（表 2－1）

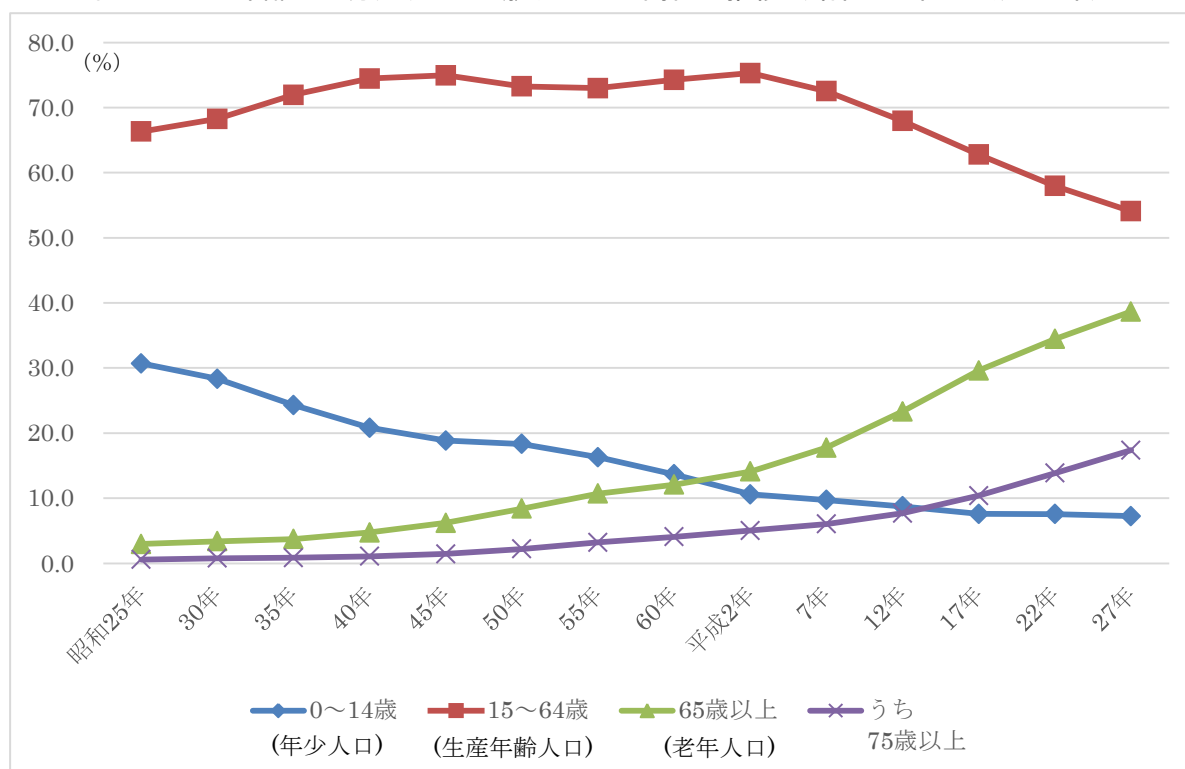
なお、大阪市における年齢 3 区分別をみると、年少人口は 29 万 5298 人（総人口に占める割合 11.2%）、生産年齢人口は 168 万 2798 人（同 63.6%）、老年人口は 66 万 8698 人（同 25.3%）となっている。

表 2－1 年齢別人口の推移（昭和 25 年～平成 27 年）

年 次	人口（人）					割合（％） 2)				
	総数 1)	0～14 歳 (年少人口)	15～64 歳 (生産年齢人口)	65 歳以上 (老年人口)	うち 75 歳 以上	総数	0～14 歳 (年少人口)	15～64 歳 (生産年齢人口)	65 歳以上 (老年人口)	うち 75 歳 以上
昭和 25 年	151,509	46,512	100,485	4,490	890	100.0	30.7	66.3	3.0	0.6
30 年	188,652	53,458	128,793	6,391	1,454	100.0	28.3	68.3	3.4	0.8
35 年	214,652	52,201	154,465	7,986	1,850	100.0	24.3	72.0	3.7	0.9
40 年	212,819	44,295	158,469	10,055	2,272	100.0	20.8	74.5	4.7	1.1
45 年	194,800	36,709	146,002	12,089	2,814	100.0	18.8	74.9	6.2	1.4
50 年	169,763	31,133	124,353	14,265	3,758	100.0	18.3	73.3	8.4	2.2
55 年	150,820	24,587	110,065	16,164	4,853	100.0	16.3	73.0	10.7	3.2
60 年	144,260	19,699	107,137	17,420	5,881	100.0	13.7	74.3	12.1	4.1
平成 2 年	142,140	14,844	105,627	19,786	7,040	100.0	10.6	75.3	14.1	5.0
7 年	141,849	13,784	102,799	25,185	8,570	100.0	9.7	72.5	17.8	6.0
12 年	136,810	11,925	92,666	31,797	10,473	100.0	8.7	67.9	23.3	7.7
17 年	132,767	9,892	81,816	38,600	13,530	100.0	7.6	62.8	29.6	10.4
22 年	121,972	9,071	69,435	41,285	16,611	100.0	7.6	58.0	34.5	13.9
27 年	111,883	7,730	57,633	41,187	18,512	100.0	7.3	54.1	38.7	17.4

1) 総数は年齢「不詳」を含むため内訳とは一致しない。 2) 割合は年齢不詳を除いている。

図 2 - 1 年齢 3 区分別及び 75 歳以上人口割合の推移（昭和 25 年～平成 27 年）



※年齢不詳を除いた割合

3 世帯の状況

○一般世帯の 1 世帯当たり人員は 1.58

平成 27 年における西成区の一般世帯数は 6 万 8230 世帯、一般世帯人員は 10 万 8083 人で、1 世帯当たり人員は 1.58 人となっている。（表 3 - 1）

昭和 60 年以降の推移をみると、一般世帯数は増加が続いていたが、平成 27 年に減少に転じた。一方、世帯人員は昭和 60 年以降より減少傾向にある。また、1 世帯あたり人員は減少傾向であり、平成 22 年の 1.65 人から平成 27 年は 1.58 人とさらに減少した。（図 3 - 1）

なお、大阪市における一般世帯数は 135 万 2413 世帯、一般世帯人員は 264 万 9619 人、1 世帯当たり人員は 1.96 人となっている。

表 3 - 1 一般世帯数、一般世帯人員及び施設等の世帯人員の推移（昭和 60 年～平成 27 年）

年次		一般世帯			施設等の世帯
		世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)	1 世帯当たり 人員 (人)	世帯人員 (人)
世帯数, 人数	昭和 60 年	54,060	130,582	2.42	13,674
	平成 2 年	53,965	120,807	2.24	19,450
	7 年	60,161	125,176	2.08	16,592
	12 年	61,599	120,179	1.95	16,209
	17 年	67,489	117,940	1.75	12,368
	22 年	69,010	113,614	1.65	8,358
	27 年	68,230	108,083	1.58	3,800
増減数 (人)	昭和 60 年～平成 2 年	△ 95	△ 9,775	△ 0.2	5,776
	平成 2 年～7 年	6,196	4,369	△ 0.2	△ 2,858
	7 年～12 年	1,438	△ 4,997	△ 0.1	△ 383
	12 年～17 年	5,890	△ 2,239	△ 0.2	△ 3,841
	17 年～22 年	1,521	△ 4,326	△ 0.1	△ 4,010
	22 年～27 年	△ 780	△ 5,531	△ 0.1	△ 4,558
増減率 (%)	昭和 60 年～平成 2 年	△ 0.2	△ 7.5	△ 7.4	42.2
	平成 2 年～7 年	11.5	3.6	△ 7.1	△ 14.7
	7 年～12 年	2.4	△ 4.0	△ 6.3	△ 2.3
	12 年～17 年	9.6	△ 1.9	△ 10.3	△ 23.7
	17 年～22 年	2.3	△ 3.7	△ 5.7	△ 32.4
	22 年～27 年	△ 1.1	△ 4.9	△ 4.0	△ 54.5

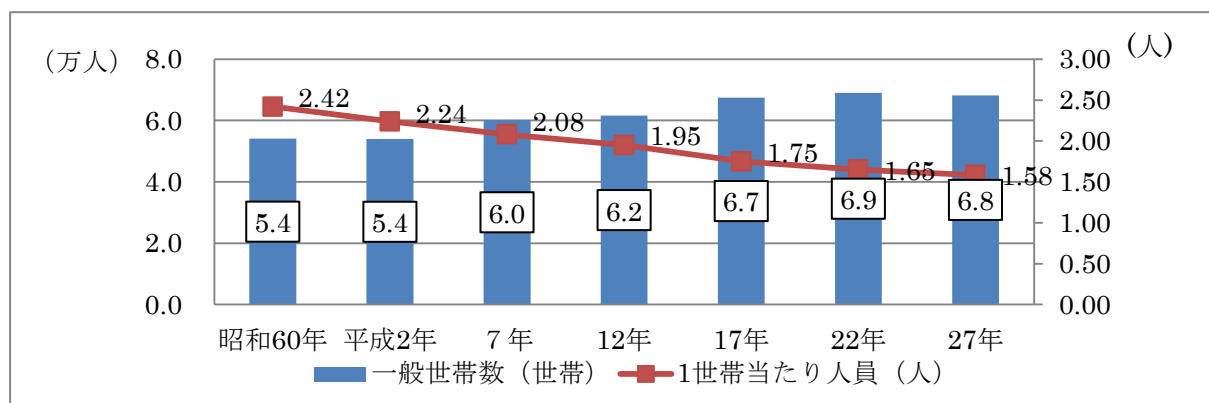
※一般世帯…

- ① 住居と生計を共にしている人々の集まり又は1戸を構えて住んでいる単身者
- ② 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
- ③ 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

施設等の世帯…

寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内居住者、矯正施設の入所者、その他定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠(住所)を有しない船舶乗組員など

図 3 - 1 一般世帯数及び 1 世帯当たり人員の推移



○65 歳以上の単独世帯（高齢単身者）の割合がさらに高まる

平成 27 年における西成区の一般世帯数（6 万 8230 世帯）のうち、65 歳以上の世帯員のいる一般世帯数は 3 万 2986 世帯で、一般世帯数に占める割合は、平成 27 年には 48.3%となっており、上昇が続いている。

65 歳以上の世帯員のいる一般世帯数を家族類型別にみると、「単独世帯」2 万 2456 世帯と最も多く、次いで「核家族世帯」が 8,299 世帯となっている。

平成 7 年以降について 65 歳以上の世帯員のいる一般世帯数の家族類型別割合の推移をみると、「単独世帯」の割合が平成 7 年から上昇が続いており、平成 27 年では 68.1%とさらに上昇した。（表 3－2）

表 3－2 世帯の家族類型別 65 歳以上世帯員のいる一般世帯数の推移(平成 7 年～平成 27 年)

世帯の家族類型	65 歳以上世帯員のいる一般世帯数 (世帯)					割合 (%)				
	平成 7 年	12 年	17 年	22 年	27 年	平成 7 年	12 年	17 年	22 年	27 年
65 歳以上世帯員のいる 一般世帯数	18,214	22,856	29,639	31,903	32,986	100.0 (30.3)	100.0 (37.1)	100.0 (43.9)	100.0 (46.2)	100.0 (48.3)
A 親族のみの世帯	10,234	11,417	11,446	10,539	9,780	56.2	50.0	38.6	33.0	29.6
ア 核家族世帯	7,272	8,677	9,209	8,502	8,299	39.9	38.0	31.1	26.6	25.2
a うち夫婦のみの世帯	4,118	4,987	5,233	4,448	4,156	22.6	21.8	17.7	13.9	12.6
イ 核家族以外の世帯	2,962	2,740	2,237	2,037	1,481	16.3	12.0	7.5	6.4	4.5
B 非親族を含む世帯	87	94	207	261	750	0.5	0.4	0.7	0.8	2.3
C 単独世帯	7,893	11,345	17,986	21,103	22,456	43.3	49.6	60.7	66.1	68.1

※（ ）内の数値は、一般世帯に占める 65 歳以上世帯員のいる一般世帯の割合。

平成 27 年 10 月 1 日現在実施した、平成 27 年国勢調査の人口等基本集計結果が、このたび総務省統計局より公表されましたので、大阪市西成区分の概要をお知らせします。

人口等基本集計とは

人口等基本集計は、人口、世帯、住居に関する基本的な事項及び外国人、高齢者世帯等に関する結果について集計したものです。

詳細な結果は、総務省統計局ホームページ「統計表一覧」をご覧ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm>

用語の解説

人口

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している者をいう。

世帯の種類

国勢調査では世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の 2 種類に区分している。

◆一般世帯…

- ① 住居と生計を共にしている人々の集まり又は 1 戸を構えて住んでいる単身者
- ② 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
- ③ 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者

◆施設等の世帯…

寮・寄宿舍の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内居住者、矯正施設の入所者、その他定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠（住所）を有しない船舶乗組員など

その他の用語

その他の用語については、総務省統計局ホームページ「平成 27 年国勢調査 調査結果の利用案内 ―ユーザーズガイド―」をご参照ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/users-g.htm>